

第4学年 社会科学習指導案

2組男子17名 女子15名 計32名
指導者 武田 洋子

1 単元名 警察と消防の仕事調べよう

2 教材名 安全なくらしとまちづくり

3 研究との関わり

本単元を通して育てたい力

<追究力>

○テキストや写真などから必要な情報を取り出し、取り出した情報を根拠をもってまとめたり自分なりに考えたりする力を育てる。

<感想力>

○資料を分析することで課題のポイントに気付き、交流で相手の意見を共感的に聞き、建設的な意見を述べたりまとめたりする力を育てる。

<説明力>

○資料を活用して具体的で分かりやすく説明する力を育てる。

4 言語活動

地域の安全を守るために働いている人たちの工夫や努力に気付き、自分も地域社会の一員として努力しようという気持ちをもちながら、レポートにまとめること

5 単元の指導目標

- 地域の安全を守るために働いている人たちの工夫や努力に気づき、自分も社会の一員として努力しようという気持ちをもつことができる。 (社会的事象への関心・意欲・態度)
- 地域の安全施設の役割が分かり、事故や災害から人々を守るための諸活動と、安全な生活の維持・向上との関係に気づくことができる。 (社会的な思考・判断)
- 地域の安全を守るための施設や諸活動の様子を見学するなどして、分かったことを工夫して表現することができる。 (観察・資料活用の技術・表現)
- 交通事故や犯罪、火災などの災害から地域の人たちを守るために、警察署や消防署を中心に関係諸機関が協力・連携して対処する体制をとり、実際に対処していることを理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)

6 単元の評価規準

	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技術・表現	社会的事象についての知識・理解
おおむね達成できる状況	事故や災害から地域の人たちを守る工夫について関心を持ち、地域社会の一員として協力しようという気持ちをもとうとしている。	安全施設の役割が分かり、事故や災害から人々を守るための諸活動と、安全な生活の維持・向上との関係に気づくことができる。	地域の安全を守るための施設や諸活動の様子を見学するなどして、分かったことを工夫して表現することができる。	地域の人たちの安全を守る施設や関係諸機関のはたらきと、そこで働く人たちの工夫や努力を理解することができる。

7 指導に当たって

(1) 児童について

児童は、これまでに、浄水場、清掃工場と地元の岩洞用水路を見学し、個人新聞やパンフレットにまとめる学習をした。その結果、見学に出かける前に事前学習をしたり自分達で発問内容を考えたりしたことで、課題意識をもって見学したり、話を聞いたりすることができた。また、新聞やパンフレットを作成する際には、学習してきたことを分かりやすく表現するために、写真や絵を取り入れながら工夫してまとめることができるようになってきている。

これらの学習を通して、聞いてきたことや自分達で調べたことを写真や絵を使ってまとめる力は付いてきているが、それらを分かりやすく表記するために関連づけて構成するまでにはいたっていない。

このことから、資料の読み取りを中心に、読み取ったことを関連づけて再構成する力が必要であると考えた。そこで本単元では、写真や図・調査結果等の資料の読み取りを中心に、自分が提案したいことを分かりやすく表現する力を付けていきたいと考える。

(2) 単元について

第3・4学年の目標(1)「地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。」と内容(4)「地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学・調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。」のア「関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。」とイ「関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。」を学習することをねらいと内容にしている。これを受けて、関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていることを中心に学習を進めることにした。

児童は、「安全指導」をしてくださっている交通指導員さんとスクールガードさん達に見守られて過ごしている。そのことで、自分たちは守っていただいているという意識をもって生活している。また、交通事故にしても火事にしても人ごとではない。いつ自分にふりかかってくるかわからないことでもある。

つまり、どの子どもにも関心のあることであり、本教材は、どの子どもにも追究心を起こさせることが出来ると考えている。

そこで、警察署や消防署の関係機関は地域の人々と協力して、事故や災害の防止に努めていることを理解し、それに対して自分たちにできることは何かを考え提案できるように、「レポート」にまとめさせていきたいと考えている。

(3) 指導について

本単元では、安全を守るしくみや配慮が工夫されていることを発見し、さらに自分たちにできることを提案する「レポート」を作って紹介する活動を言語活動として位置づけている。この小単元で付けたい3つの力は次の通りである。

①「見通す段階」

〈追究力〉 「安全レポートにまとめる」について確認し、安全なくらしづくりに協力できることは何か考えることの見通しをもつことができるようにする。

見通す段階では、自分たちが安全に生活できるのはどんな方々の協力があつてなのかを思い出させながら、そのことに対して、自分たちにできることは何かを考え提案していくことを告げ、見通しをもたせるようにする。また、児童が単元の見通しをもって学習を進めていけるように、児童とともに学習計画を設定していくようにする。

②「深める段階」

〈追究力〉 資料を読んだり、見学して学んできたことや実際に調査したことから情報を取り出して分かりやすくまとめたりすることを通して、資料を的確に読み取ったり、分析したりする力を育てる。

〈感想力〉 グループ内で調べた内容を話し合う場を設定することで、共感的に聞き合ったり交流を通して考えたりする力を育てる。

深める段階では、『資料よみとり名人』シートを提示し、それを活用して資料をくわしく読みとらせるようにする。また、見学前に事前指導をしっかりし有意義な見学にさせるようにする。資料で学習したことと見学して学習してきたことをもとにして、さらに自分たちの地域で実際に調査・観察したことを根拠にして、グループ内で話し合い、協力し合いながら考えさせるようにする。

③「まとめる段階」

〈説明力〉「レポート」にまとめる際に、資料や写真を用いたり、見学して学んできたりしたことを根拠としながら、分かりやすく説明する力を育てる。

まとめる段階では、これまでの学習で得た知識と自分で調査などして分かったことをもとに、どの資料や写真などを使えばよいのか、また、自分の意見・主張を友達に、分かりやすく説明するにはどうしたらよいかを考えさせ、工夫させるようにする。常に、相手を意識させるようにするとともに、『4年生で使いたい言葉』・『4年生社会科用語シート』の活用も促していくようにする。

④「広げる段階」

〈感想力〉各グループでまとめた「レポート」をお互いに発表し、交流し合うことを通して、考えを深める力を育てる。

広げる段階では、まとめたレポートをプレゼンテーションし合い、さらに自分たちのこれからの生活に生かしていこうという気持ちをもたせるようにする。ただ、考えたではなく実際に実行していこうとする気持ちにまでもっていきけるようにする。

8 単元の学習計画及び評価計画 (16時間)

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	具体的評価規準 (評価方法)
見 通 す	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>私たちのくらしの安全を守ってくれている人たちについて考えよう。</p> </div> <p>1 私たちのくらしの安全を守ってくれる人たちについて話し合う。 ○交通安全教室・交通指導員の方々を思い出させること。 ○避難訓練のことなどを思い出させること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習計画を立て、調べ方の見通しをもとう。</p> </div> <p>2 「事故を防ぐ」「家事を防ぐ」の学習の計画を立てて、調べ方の見通しをもつ。 ○「事故を防ぐ」は警察の仕事「火事を防ぐ」は消防の仕事を中心に学習すること。 ○自分たちが調べたことを提案する「レポート」を作成すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段、お世話になっている人たちのことを思い出させるようにする。 ○ 安全に登下校したり、生活できたりするのは、どのような人たちの努力や工夫があるお陰なのか、考えさせる。 ○ 学習していくことの必然性や価値に気づかせるようにする。 ○ 見学レポートに書く内容について必要なことは何かを提示する。 	<p>知地域や学校では、どんな「交通安全」・「火事を防ぐ」ための取り組みがなされているのか理解できる。 (発言・表情)</p>

深める	2 〜 4	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">交通事故をふせぐために、どんな工夫がされているか考えよう。</p> <p>1 自分たちに身近な交通事故について話し合う。 ○交通事故の悲惨さに気づくこと ○実態をとらえること ○解決策を考えること</p> <p>2 交通安全施設について話し合う。 ○教科書や交通標識と学校安全マップなどを参考にしながら話し合うこと。</p>	<p>○ テキストに合わせた読み取りができるように、「資料読み取り名人」の活用を助言する。</p> <p>○ 学校の周りや地域の安全に関わる施設の写真や文章を参考にさせる。 ○ 交通標識などの資料を用意し、学校安全マップの活用をさせたりする。</p>	<p>関事故現場の写真や事故の発生件数のグラフ等を意欲的に読み取ろうとしている。 (発言・表情)</p> <p>思安全施設が設置されている理由について考え、その役割をとらえることができたか。 (発言・ノート)</p>
		<p>3 交通事故が起きたらどうしたらよいか話し合う。 ○110番をして、警察を呼ぶこと。 ○けが人がいたら、119番すること。 ○事故の時には、どんな仕事をしているか考えること。 ○他にはどんな仕事をしているのか話し合うこと。</p>	<p>○ 実際に事故に出会ったときの対処の仕方について考える中で、警察官の仕事に目を向けさせる。 ○ 交通事故が起きたときに必要な処置にはどのようなものがあるのか考えさせる。 ○ 交通課の人の話から具体的に交通整理をすることやけが人が射るときには救急隊への連絡など、何が必要かを読み取らせる。 ○ 「110番のしくみ図」から順番を読み取ったり、子どもの生活体験から警察の仕事を考えさせたりする。</p>	<p>思警察の仕事、110番の仕組み、交通事故を防ぐための取り組みについて考えることができる。 (発言・表情)</p> <p>知110番の仕組み、関係機関との協力の仕組み、交番の仕事について理解することができたか。 (発言・ノート)</p>
	5	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「自分の家」が火事になったらどうしたらよいか考えよう。</p> <p>1 火事になったらどうしたらよいか考える。 ○どうしなければならないかを考えさせること。</p> <p>2 グラフから読み取れることを話し合う。 ○火事の様子の写真を見ながら、気づいたことを話し合うこと。</p> <p>【資料読み取り名人シート】</p> <p>3 消防のしくみについて調べる計画を立て、見通しをもつ。 ○火事は消火だけでなく、防</p>	<p>○ 火事の恐ろしさをできるだけ実感してとらえられるようにするために、資料の提示を工夫したい。火事の写真を見せたり、消防自動車のサイレンの音や火事の音を聞かせたりするようにしたい。</p> <p>○ グラフを大きくして提示し、件数の移り変わり・けが人の推移・家事の原因・失われた財産の金額など、グラフを指しながら、読み取ったことを確認させるようにする。</p>	<p>技火事の件数の移り変わりや、原因をグラフから適切に読み取ることができたか。 (発言・交流の様子)</p> <p>関なぜ火事が起きるのかということや火事からわたしたちの暮らしを守る工夫に関心を持ち、調べようとする意欲をもって学習計画を</p>

	火も大切であること。	○ 火事は消火もたいせつではあるが、家事を起こさないという防火も大切であることに気づかせたうえで、調べる計画を立てさせる。	立てることができたか。 (発言・表情)
6 5 7	1 社会科見学に行って学習してくる。 見学の観点 消防署・早く連絡する工夫 ・火事を防ぐ工夫 ・消防署の仕事 警察署・早く連絡する工夫 ・事故・犯罪を防ぐ工夫 ・警察署の仕事	○ 事前に調べたいことなどを整理させ、見学の目的を確認しておく。 ○ 119番通報が来たときの連絡の仕組みについて確かめる。 ○ 家事を防ぐためにしていることは何か聞いて確かめる。 ○ 110番の通報が来たときの連絡の方法を確かめてくる。 ○ 警察官が私たちの安全を守るためにどんな仕事をしているか聞いて確かめる。	技 見通しをもって見学し、警察署や消防署の働きや、そこで働く人々の工夫や努力について具体的に聞くことができたか。(聞く態度・ノート・発言)
8	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">学校にある消防施設の種類と位置、役割を調べよう。</div> 1 学校の消防施設を調べる。 種類 消火器・消火栓・煙感知器・熱感知器・発信機・送信機など 配置 配置図にまとめよう。 なぜあるのだろう 2 消防施設の配置図を見て、気づいたことを話し合う。 ○なぜそこにあるかまで考えさせること	○ 学びのてびきを読み、調べ方を確認する。 ○ 学校の見取り図を用意しておき、消防施設を簡単に書き込めるようにしておく。 ○ 施設や設備ごとに記号化し、平面図に表示していくことで、位置や数がわかりやすいようにする。 ○ 消防施設や設備の役割と位置を関連づけて考えさせることで、その場所に設置されている理由を理解させる。 ○ 調べたことを配置図にまとめ、わかったことを話し合うことにより理解を確かなものにする。	技 学校の消防施設や設備を調べて見取り図にまとめることができたか。 (見取り図) 知 学校には、いろいろな消防施設が、計画的に配置されていることを理解できたか。 (発言・交流の様子)
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">村の消防施設が、どこにあるかを調べて、どうしてその場所にあるのか考えよう。</div> 1 学区の消防施設について調べる。 ○消防施設の役割を調べること。 2 消防団の人たちは、どんな	○ グループで協力して、見たことがあるものを同じように地図に書き込ませる。 ○ 地域の消防団の活動につ	技 学校の周りの消防施設を見つけ、地図に書き表すことができた

	<p>ことをしているのか調べる。</p> <p>○地域の消防団の活動について資料をもとに話し合うこと。</p> <p>3 村の消防のための工夫についてまとめよう。</p> <p>○地域の消防の工夫について、調べたことをもとに話し合うこと。</p>	<p>いて、あらかじめ調べておき、活動内容を資料として提示する。</p> <p>○ 村の消防施設が、どこにあるのか調べて、どうしてその場所にあるのか考えさせる。</p>	<p>か。(ワークシート)</p> <p>思防火設備や消防団の工夫や努力について、考えることができたか。(表情・交流の様子・ワークシート)</p>
10	<p>消防署では、火事を早く消すために、どのような仕組みを作り、工夫しているか調べよう。</p> <p>1 消ぼうの早さのひけつをさぐる。</p> <p>○見学して聞いてきたことと資料をもとにして調べてまとめること</p> <p>①火事の通報から出動までの連絡の仕組みを調べる。</p> <p>②消防機関の協力の仕組みや、市町村などとの協力体制を調べる。</p> <p>③消防署の日常の訓練や点検、広報など、火事を予防する活動や救急隊の仕事について調べる。</p>	<p>○ 図をもとに、通報から出動までの流れをたどらせ、その仕組みを大まかにとらえられるようにする。</p>	<p>知119番の仕組みを理解することができたか。(発言・表情・ノート)</p>
ま と め る ま と め る ま と め る	<p>安全なくらしができるような提案ができるように、レポートにまとめよう。</p> <p>1 安全レポートにまとめる。</p> <p>○これまで学習してきたことをもとにまとめること。</p> <p>○まとめたい内容にそって資料を集め、集めた資料を分析して、自分の考えをまとめること。</p> <p>警察署関係 消防署関係 学校や地域のようすで調べてまとめたもの</p>	<p>○ 資料を視点にそって読み取ったり、まとめたりできるようなワークシートを用意して支援する。</p> <p>○ 相違点や共通点を比較して『安全を守る』ことの特徴をとらえさせるようにする。</p> <p>○ 自分が何を一番にうたえたいのか考えさせ、それをはっきり伝えるための資料は何が効果的かなどを考えさせる。</p>	<p>技地図や写真、もらってきた資料から読み取ったことや読み取ったことから考えたことをワークシートにまとめている。(ワークシート)</p>
	<p>2 まとめたことを、グループで話し合い、話し合ったこと</p>		

		<p>をもとに，さらに調べたり良いレポートにまとめたりする。</p> <p>○グループごとに発表し，内容について意見を出し合うこと。</p> <p>○出された意見をもとに，もう一度調べ直したり，原稿をまとめたりすること。</p> <p>3 まとめた内容をミニプレゼンテーションし合う。</p> <p>○となりのグループとミニプレゼンテーションをすること</p>	<p>○「4年生社会科で使いたい言葉シート」や「社会科用語シート」を活用し，社会科の言葉を使ってより適切に表現させるようにする。</p> <p>○プレゼンテーションの方法は，もりもりタイムでの学習や国語でのことを想起させる。</p> <p>○自分の調べた内容や考えと，比べたり関連づけたりして意見が言えるようにする。</p>	<p>関分かりやすく内容をまとめている点を伝え合おうとしている。 (発表・発言)</p>
広 げ る	14 ・ 15	<p>まとめたことをプレゼンテーションして，友だちに伝えよう。</p> <p>1 まとめたレポートをプレゼンテーションする。</p> <p>2 自分でまとめたレポートや友だちのプレゼンテーションを聞いて，分かったことや考えたことをまとめる。</p>	<p>○これまで調べたことを，お互いに関係づけながら聞くようにする。</p>	
	16	小単元全体の振り返りをする。		

9 本時の学習 (12 / 16 時)

(1) 目標 みんなが安全な暮らしができるように，工夫や努力をしている人々がいることや自分たちにできることなどの提案レポートを完成させることができる。

(2) 展開

段階	学習内容・学習活動	形態	指導上の留意点	評価 (評価方法)
導 入 5	<p>1 本時の学習の流れとめあてを確認する。</p> <p>まとめたレポートを交流し，さらに良いレポートに仕上げよう。</p>	全	<p>○ 発表された「レポート」の分かりやすく内容をまとめている点について，レポートの観点にそって伝え合うことを確認する。</p>	<p>「レポート」の発表に興味をもち，意欲と見通しを持っている。 (発言・表情)</p>
展 開	<p>2 各自のレポートを，グループで話し合い，それをもとにさらに調べたり，まとめたりする。</p>		<p>○ 「レポートのまとめ方シート」を参考にさせながら，聞き合う</p>	

35	<p>観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきたことを根拠としてまとめること。 ・図・グラフや写真を効果的に活用すること。 ・自分の考えを提案していること。 <p>(1) 一人ひとりが自分のレポートを発表する。</p> <p>(2) 一人ひとりの発表ごとに気がついたことを伝え合う。</p> <p>(3) 全員の発表と伝え合いが終わったら、発表や伝え合いを通して気がついたことを話し合う。</p> <p>3 話し合ったことをもとに、さらによいレポートに仕上げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合ったことを生かして、清書して仕上げること。 	<p>グ</p> <p>個</p>	<p>ようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分がまとめた内容を、資料にもとづいて説明する。 ○ 発表されたレポートの分かりやすく内容をまとめている点について、「レポート」の観点に沿って伝え合うことを助言する。 ○ 発表会が終わったグループには、伝え合った内容を聞き、調べた内容・視点・比較や関連づけについてあらたに深めたり広げたりするように声かけをする。 	<p>観点に気をつけて友だちの発表を聞いているか。 (表情・発言)</p> <p>提案したいことなどに関連づけてレポートを書こうとしているか。 (レポート)</p>
<p>終末</p> <p>5</p>	<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返りをし、自己評価をすること。 <p>5 次時の課題をもつ。</p>	全	<ul style="list-style-type: none"> ○ レポートのよい点に気づき、伝え合えたことを取り上げる。 	

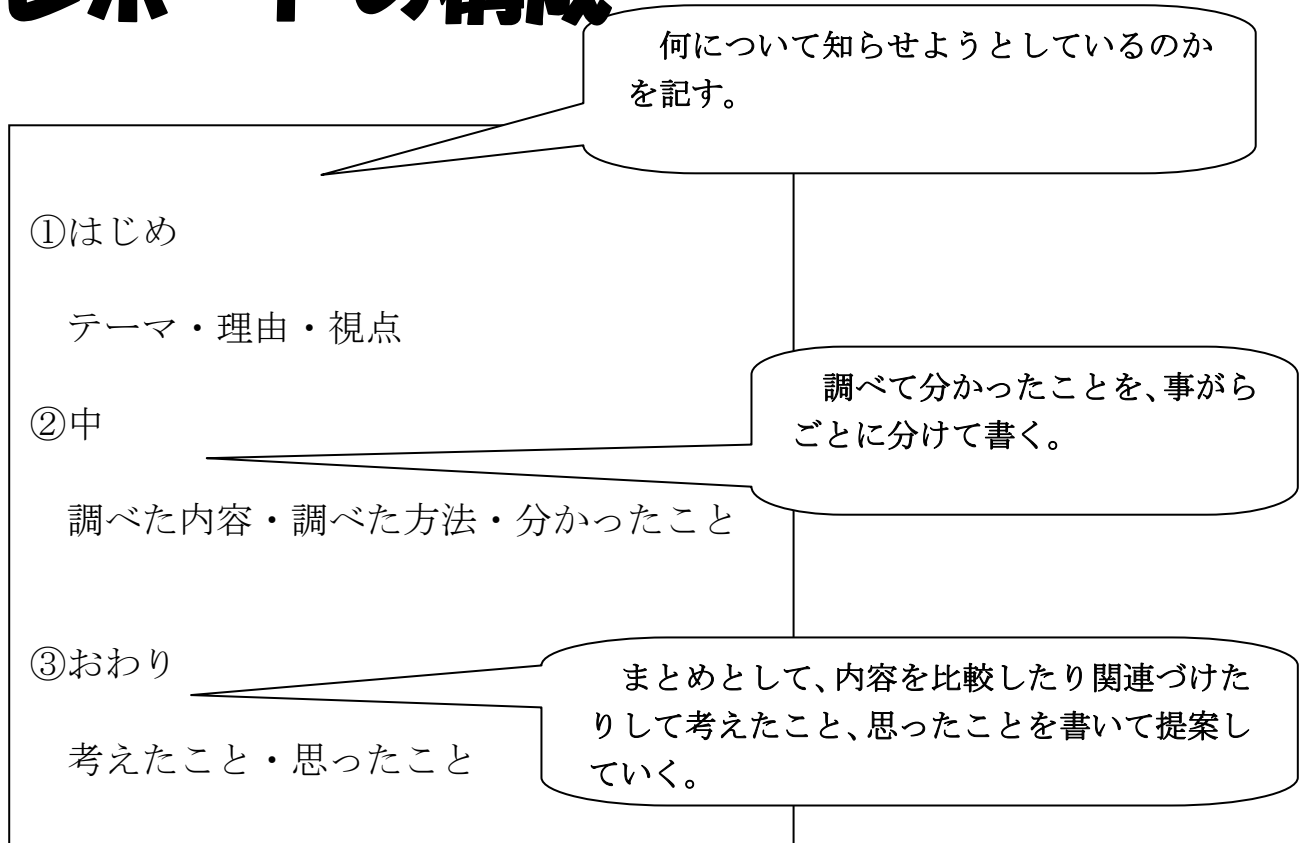
4年生社会科で使いたい言葉

名前

分類	番号	チェック	言葉	メモ
資料 で 使 う 読 言 み 葉 取	1		グラフから～がわかる	
	2		全体的に	
	3		～の点に気をつけて	
	4		～の様子から	
	5		身近な～を手がかりに調べる	
	6		～の何分の何を表している	
説動 明機 の	7		なぜ～なのだろうか。	
	8		どうして～なのか、前から不思議に思っていた。	
	9		～なので、調べることにした。	
ま よ と く め 使 う と 言 き 葉 に	10		～と～の関係から	
	11		関係づけることができる	
	12		～を中心とした	
	13		～と同じように	
	14		～と比較すると	
	15		～と深く関係している	
自 分 の 考 え を 表 現 す 使 う と 言 き 葉 に	16		これらをまとめると	
	17		～に与える影響	
	18		～を生かす	
	19		～のおかげで	
	20		受け継がれる	
	21		影響を受ける	
	22		～がさかんな～	
	23		～を支える	
	24		重要な役割を果たしている	
	25		適している	
	26		～の特色（特ちょう）がある	
	27		～の努力	
	28		～の願い	
	29		発展する	
	30		～に問題点がある	
	31		～に役立つ	
	32		～の理由	
	33		～に利用されている	

レポートのまとめ方

レポートの構成



レポートの観点

- 学習・見学してきたことや調査ちょうさしたことなどを根拠こんきよにまとめること。
- 図・グラフや写真こうかてきを効果的に活用すること。
- 自分の考えを提案していること。

4年生社会科用語シート

名前

	番号	言葉	読み方	メモ		番号	言葉	読み方	メモ	
ア	1	愛情	あいじょう		サ	2 4	相互に連携	そうご れんけい		
	2	飲料水	いんりょうすい			2 5	尊重	そんちょう		
	3	受け継ぐ	うけつぐ			タ	2 6	対策	たいさく	
カ	4	外国	がいこく		2 7		地域	ちいき		
	5	関係機関	かんけいきかん		2 8		地形	ちけい		
	6	協力的	きょうりよくてき		2 9		地図記号	ちずきごう		
	7	緊急に対処	きんきゅう たいしよ		3 0		調査	ちょうさ		
	8	計画的	けいかくてき		3 1		電気	でんき		
	9	建造物	けんぞうぶつ		3 2		特色	とくしょく		
	1 0	公共施設	こうきょうしせつ		3 3		都市	とし		
	1 1	交通	こうつう		3 4		土地利用	とちりよう		
	1 2	国内	こくない		ナ		3 5	年中行事	ねんじゅうぎょうじ	
	1 3	国旗	こつき			ハ	3 6	廃棄物	はいきぶつ	
サ	1 4	災害	さいがい		3 7		発展	はってん		
	1 5	産業	さんぎょう		3 8		販売	はんばい		
	1 6	事業	じぎょう		3 9		文化財	ぶんかざい		
	1 7	資源	しげん		4 0		法	ほう		
	1 8	消費生活	しょうひせいかつ		4 1		方位	ほうい		
	1 9	処理	しより		4 2		誇り	ほこ		
	2 0	生産	せいさん		ヤ		4 3	有効利用	ゆうこうりよう	
	2 1	節水 節電	せつすい せつでん				4 4	4 7都道府県	4 7とどうふけん	
	2 2	先人の働き	せんじん はたらき		4 5					
	2 3	選択	せんたく		4 6					